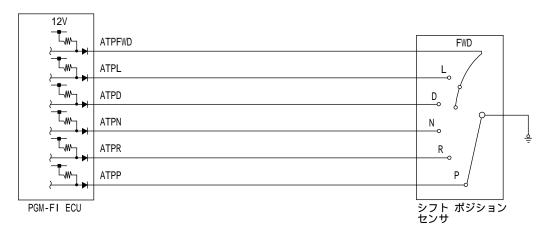
DTC P0705: シフト ポジション センサおよびセンサ回路短絡 (CVT システム)

検知原理解説



01_P0705C_SYYB10

セレクト レバー シフト ポジション センサ接続表

セレクト レバー	シフト ポジション センサ信号入力					
	Р	R	N	D	L	FWD
Р		×	×	×	×	×
R	×		×	×	×	×
N	×	×		×	×	×
D	×	×	×		×	
L	×	×	×	×		

: LO 信号 - クローズ (OV)

x: HI 信号 - オープン (5V もしくは 12V)

シフト ポジション センサは、トランスミッションのコントロール シャフトに固定されている。 運転者のセレクト レバー操作により、コントロール ワイヤを介しコントロール シャフトが回転する。 コントロール シャフトの回転角度による LO/HI の信号で、どのポジションが選択されているかをシフト ポジション イン ジケータに表示している。また、コントロール シャフトはシフト ポジション センサの操作とともに、マニュアル バル ブを操作することによりトランスミッションの前進 / 中立 / 後退の油圧切替えも行っている。 PGM-FI ECU は、シフト ポジション センサからの信号を、変速スケジュールを決めるために使用する。 PGM-FI ECU の入力端子電圧は、シフト ポジション センサ内の各スイッチがオープン時は HI、クローズ時は LO となる。 セレクト レバーにより選択されたシフト ポジション信号と異なるシフト ポジション信号が同時に入力された場合、 PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の)検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間以上
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯: 消灯、D 表示灯: 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリ電圧 [バッテリ電圧]	10.0V	
当該 DTC の検知禁止要求を行 う DTC	P16C0	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

次のいずれかが成立した場合:

- ・セレクト レバーで選択された信号入力とは別のポジション信号入力が同時に1秒間以上継続する場合。(FWD ポジション信号入力[フォワード SW] は除く)
- ・P、R または N ポジション信号入力 [AT P、R または N SW] と同時に FWD ポジション信号入力 [フォワード SW] が 1 秒間 以上継続する場合。

推定故障部位

- · PGM-FI ECU とシフト ポジション センサ間コード (各スイッチ ライン)の短絡
- ・シフト ポジション センサの故障
- · PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

- 1. エンジンを始動する。
- 2. ブレーキ ペダルを踏んだ状態ですべてのセレクト レバー ポジションにてそれぞれ 1 秒間以上待機する。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリ端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。